

14時30分解禁

平成25年1月 全国百貨店売上高概況

平成25年2月19日

I. 概 況

1. 売上高総額	5,472億円余
2. 前年同月比	0.2% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	86社 249店 (平成24年12月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,328,530㎡ (前年同月比:-1.4%)
5. 総従業員数	82,412人 (前年同月比:-5.7%)
6. 3か月移動平均値	6-8月 -2.0%、7-9月 -1.7%、8-10月 -1.3%、 9-11月 -0.1%、10-12月 -0.5%、11-1月 0.2%

【参考】平成24年1月の売上高増減率は-1.1% (店舗数調整後)

【1月売上の特徴】

2か月ぶりに前年同月比プラスとなった。

今年1月は、強い寒気による気温低下や中旬の連休に大雪が重なったことなどから、入店客数には大きな影響を受けたものの、初商や福袋の活況、あるいは冬のクリアランスの堅調推移、さらには年末からの円安株高による景気回復への期待感・消費マインドの好転をベースに、輸入特選雑貨を含む身のまわり品(+3.6%)や高級時計などの高額商材(美宝貴:+6.8%)が大幅な伸びを示したことがプラス要素に働いた。また、マフラー・手袋など防寒アイテムが活発に動いたほか、菓子類(+2.3%)を中心に食料品(+0.6%)も好調に推移したことなどから、天候不順によるマイナスを抑えて、最終的には前年実績を上回る結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、増床・改装効果のある東京や大阪を中心に大都市(10都市:+1.0%)が商況全体を牽引したこと、訪日外国人は春節のズレ(去年1/23⇒今年2/10)による反動で、売上・客数共2か月ぶりに減少(売上高:-2.8%、購買客数:-10.1%)したが、東南アジア等の顕著な伸びもあって実質的には回復基調が続いていること、などが報告されている。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「1月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 日本の上空に寒気が入ることが多かったため、気温は北日本から西日本にかけて低く、東・西日本では11月から3か月連続して低温となった。また、13~14日に東日本と東北地方の太平洋側で積雪となり、大雪となった所もあった。日照時間は、北日本から西日本の太平洋側でかなり多かった。

(2) 営業日数増減 30.1日 (前年同月比+0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 (〃 -1日/振替休日1日減)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数133店舗)

①増加した:24店、②変化なし:39店、③減少した:70店

(5) 1月歳時記(初売り、冬の全館セール、成人の日)の売上(同上/有効回答数108店舗)

①増加した:16店、②変化なし:58店、③減少した:34店

(6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数170店舗)

①増加する:15店、②変化なし:84店、③減少する:25店、④不明:46店

全国百貨店 売上高速報 2013年01月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	547,232,032	100.0	0.2 (-1.0)
10都市	358,536,642	65.5	1.0 (0.4)
札幌	13,488,292	2.5	-0.9
仙台	7,816,852	1.4	-1.8
東京	131,799,636	24.1	0.5 (-0.2)
横浜	30,694,853	5.6	-1.8
名古屋	32,925,027	6.0	0.6
京都	21,712,067	4.0	-0.8
大阪	73,568,603	13.4	3.3
神戸	15,073,777	2.8	5.3 (-2.9)
広島	13,644,246	2.5	3.4
福岡	17,813,289	3.3	1.4
10都市以外の地区	188,695,390	34.5	-1.4 (-3.5)
北海道	3,031,878	0.6	-2.5
東北	9,037,631	1.7	-4.4
関東	90,516,884	16.5	-1.1 (-5.5)
中部	14,442,124	2.6	-4.0
近畿	18,252,711	3.3	1.6
中国	13,517,374	2.5	0.4
四国	10,897,488	2.0	-0.1
九州	28,999,300	5.3	-2.8

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	547,232,032	100.0	0.2 (-1.0)
紳士服・洋品	47,671,878	8.7	-1.9 (-2.9)
婦人服・洋品	150,753,296	27.5	-1.4 (-2.3)
子供服・洋品	15,532,910	2.8	-2.5 (-4.5)
その他衣料品	14,492,768	2.6	-0.5 (-1.8)
衣 料 品	228,450,852	41.7	-1.5 (-2.6)
身のまわり品	73,071,089	13.4	3.6 (1.5)
化粧品	25,028,847	4.6	1.2 (0.6)
美術・宝飾・貴金属	21,134,921	3.9	6.8 (5.3)
その他雑貨	21,415,301	3.9	-2.1 (-2.5)
雑 貨	67,579,069	12.3	1.8 (1.0)
家 具	6,213,569	1.1	-3.0 (-4.0)
家 電	1,308,209	0.2	-3.2 (-3.2)
その他家庭用品	17,631,768	3.2	-0.1 (-1.5)
家 庭 用 品	25,153,546	4.6	-1.0 (-2.3)
生 鮮 食 品	25,789,448	4.7	-1.2 (-2.1)
菓 子	33,354,358	6.1	2.3 (1.5)
惣 菜	28,115,801	5.1	0.4 (-0.4)
その他食料品	36,482,194	6.7	0.5 (-0.6)
食 料 品	123,741,801	22.6	0.6 (-0.3)
食 堂 喫 茶	15,236,712	2.8	2.4 (1.9)
サ ー ビ ス	4,967,094	0.9	0.2 (-1.7)
そ の 他	9,031,869	1.7	-2.5 (-3.9)
商 品 券	10,817,366	2.0	-4.8 (-5.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 1.0% (店舗数調整後／2か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.4% (〃 ／2か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	1.0	0.7	2か月ぶりプラス
札幌	-0.9	0.0	2か月連続マイナス
仙台	-1.8	0.0	9か月連続マイナス
東京	0.5	0.1	2か月ぶりプラス
横浜	-1.8	-0.1	2か月連続マイナス
名古屋	0.6	0.0	3か月連続プラス
京都	-0.8	0.0	2か月連続マイナス
大阪	3.3	0.4	3か月連続プラス
神戸	5.3	0.1	6か月連続プラス
広島	3.4	0.1	10か月ぶりプラス
福岡	1.4	0.0	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-1.4	-0.5	2か月連続マイナス
北海道	-2.5	0.0	10か月連続マイナス*
東北	-4.4	-0.1	4か月連続マイナス*
関東	-1.1	-0.2	2か月連続マイナス
中部	-4.0	-0.1	10か月連続マイナス
近畿	1.6	0.1	2か月ぶりプラス
中国	0.4	0.0	2か月ぶりプラス*
四国	-0.1	0.0	2か月連続マイナス
九州	-2.8	-0.2	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が3か月連続、食料品が2か月ぶりのプラス。衣料品が2か月連続、家庭用品が9か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が6か月連続、美術・宝飾・貴金属が5か月連続のプラス、菓子、惣菜、その他食料品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.2	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	－1.9	－0.2	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	－1.4	－0.4	2か月連続マイナス
子供服・洋品	－2.5	－0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	－0.5	0.0	2か月連続マイナス
衣料品	－1.5	－0.6	2か月連続マイナス
身のまわり品	3.6	0.5	3か月連続プラス
化粧品	1.2	0.1	6か月連続プラス＊
美術・宝飾・貴金属	6.8	0.2	5か月連続プラス＊
その他雑貨	－2.1	－0.1	10か月連続マイナス＊
雑貨	1.8	0.2	3か月連続プラス
家具	－3.0	0.0	4か月連続マイナス
家電	－3.2	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	－0.1	0.0	2か月連続マイナス
家庭用品	－1.0	0.0	9か月連続マイナス
生鮮食品	－1.2	－0.1	10か月連続マイナス＊
菓子	2.3	0.1	2か月ぶりプラス＊
惣菜	0.4	0.0	2か月ぶりプラス＊
その他食料品	0.5	0.0	2か月ぶりプラス＊
食料品	0.6	0.1	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	2.4	0.1	3か月連続プラス
サービス	0.2	0.0	2か月ぶりプラス
その他	－2.5	0.0	2か月ぶりマイナス
商品券	－4.8	－0.1	23か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成25年1月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年2月19日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,317億円余
2. 前年同月比	0.5% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.1%(91.1%) : 非店頭4.5%(8.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年12月対比±0店)
5. 総店舗面積	918,588㎡ (前年同月比:0.3%)
6. 総従業員数	18,756人 (前年同月比:-0.5%)
7. 3か月移動平均値	6-8月 -0.4%、7-9月 -0.2%、8-10月 -0.3%、 9-11月 0.9%、10-12月 0.1%、11-1月 0.7%

〔参考〕平成24年1月の売上高増減率は-3.1% (店舗数調整後)

【1月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は連休中の積雪で大きな影響を受けた結果、平均して前年比3%～4%の減少となった。一方、防寒・防水需要の高まりからブーツを含むレインシューズが大きな伸びを示すなどの特需も出ている。
- (2) 都内では、全国水準以上に高額商材が活況で、美術・宝飾・貴金属が前年比+11.4%と二桁の伸びを示した。特に高級時計については、多くの店で二桁増を記録した。
- (3) 食料品についても前年比+1.5%と好調に推移したが、この背景としては、各店で積極展開した地方物産展などの食品催事が盛況だったことも要因となっている。
- (4) 都内各店のバレンタイン商戦は、女性同士でギフト交換する「友チョコ」が浸透するなど新たな動きもあり、概ね前年比5%程度の伸びで推移した。
- (5) 2月中旬までの東京地区の商況は、平均して4%～5%増で推移している。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.1日 (前年同月比+0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数20店舗)
 - ①増加した:2店、②変化なし:7店、③減少した:11店
- (3) 1月歳時記 (初売り、冬の全館セール、成人の日) の売上 (同上/有効回答数16店舗)
 - ①増加した:4店、②変化なし:5店、③減少した:7店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
 - ①増加する:3店、②変化なし:11店、③減少する:4店、④不明:2店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年01月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	131,799,636	100.0	0.5 (-0.2)
紳士服・洋品	13,146,423	10.0	-2.3
婦人服・洋品	33,176,325	25.2	-2.5 (-3.0)
子供服・洋品	2,653,006	2.0	-2.1
その他衣料品	2,850,850	2.2	5.4
衣 料 品	51,826,604	39.3	-2.0 (-2.3)
身のまわり品	18,280,531	13.9	7.4 (4.6)
化粧品	6,047,703	4.6	1.0
美術・宝飾・貴金属	5,979,054	4.5	11.4
その他雑貨	6,329,952	4.8	-5.3
雑 貨	18,356,709	13.9	1.8
家 具	1,850,994	1.4	-1.5
家 電	777,527	0.6	7.1
その他家庭用品	4,458,345	3.4	-5.2 (-6.2)
家 庭 用 品	7,086,866	5.4	-3.0 (-3.7)
生 鮮 食 品	4,688,785	3.6	3.1
菓 子	7,713,016	5.9	1.8
惣 菜	6,694,972	5.1	2.0
その他食料品	9,212,581	7.0	0.1 (-0.9)
食 料 品	28,309,354	21.5	1.5 (1.2)
食 堂 喫 茶	3,140,531	2.4	0.2 (-0.9)
サ ー ビ ス	1,957,437	1.5	-1.7
そ の 他	2,841,604	2.2	-1.2 (-5.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	2,309,494 千円	-16.8 (-17.0)
従 業 員 数	18,756 人	-0.5
店 舗 面 積	918,588 m ²	0.3

営 業 日 数	30.1 日	前年	30.0 日
----------------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が3か月連続、雑貨が4か月ぶり、食料品が2か月ぶりのプラス。衣料品が2か月連続、家庭用品が3か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が6か月連続、家電が2か月連続、惣菜が18か月連続のプラス、その他衣料品、美術・宝飾・貴金属、生鮮食品、菓子、その他食料品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.5	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	－2.3	－0.2	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	－2.5	－0.7	2か月連続マイナス
子供服・洋品	－2.1	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	5.4	0.1	2か月ぶりプラス
衣料品	－2.0	－0.8	2か月連続マイナス
身のまわり品	7.4	1.0	3か月連続プラス
化粧品	1.0	0.0	6か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	11.4	0.5	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	－5.3	－0.3	9か月連続マイナス*
雑貨	1.8	0.2	4か月ぶりプラス
家具	－1.5	0.0	4か月連続マイナス
家電	7.1	0.0	2か月連続プラス
その他家庭用品	－5.2	－0.2	9か月連続マイナス
家庭用品	－3.0	－0.2	3か月連続マイナス
生鮮食品	3.1	0.1	2か月ぶりプラス*
菓子	1.8	0.1	2か月ぶりプラス*
惣菜	2.0	0.1	18か月連続プラス*
その他食料品	0.1	0.0	2か月ぶりプラス*
食料品	1.5	0.3	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	0.2	0.0	3か月連続プラス
サービス	－1.7	0.0	2か月連続マイナス
その他	－1.2	0.0	9か月連続マイナス
商品券	－16.8	－0.4	21か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>